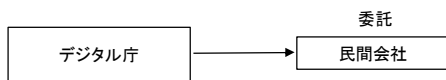


令和5年度行政事業レビューシート			(デジタル庁)				
事業名	産業用データ連携基盤			担当部局庁	国民向けサービスグループ		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和7年度	担当課室	企業間取引班	三田 哲也	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	ドローンなど実空間の多様なデータや、契約等の取引に関するデータなど、業界をまたがるデータ交換を容易に行える仕組みを構築し、産業のデジタル化を加速する。具体的には、分野間データ連携に必要なツールとして、認証認可を含むトラスト支援機能や分野横断型データカタログなど、必要な機能の開発を行い、安定的かつ持続的な運用に向けての課題の整理、及び実稼働に向けた道筋をつける。						
現状・課題 (5行程度以内)	三次元空間情報基盤の取組においては、自動運転車やドローン、自動配送ロボット等の高度な運行を可能とする、様々な三次元地理空間情報や気象状況、交通状況などのリアルタイム情報をデジタル化した上で機械可読な形で効率的に流通させる基盤としてデジタルインフラのアーキテクチャ設計・検証、実証・研究開発に取り組む。産業を横断して、必要となるデータの連携を可能にする産業用データ連携基盤は、ユースケースの一つである三次元空間情報基盤の社会実装に向けて、2025年の大阪・関西万博でのドローン活用等に向けた整備が求められる。 サービスやものづくりの革新を、中小企業始め 我が国の企業がリードしていくためには、系列にとどまらない多様な相手に提案し受注できる取引のデジタル化が不可欠になる。また、今後は需要側のデータが人の判断を介さず駆動するためのデータ連携を特定の事業者間ではない事業者ネットワークの中で実現できるデータ連携基盤が必要となる。受発注から、請求、決済にわたる企業間の取引全体をデジタル化しデータ連携を可能とすることで、グローバルにサプライチェーン全体を強靱化・最適化し、カーボンニュートラルの実現等の社会課題の解決を進めると同時に中小企業やベンチャー企業等が活躍して産業が発展する社会を実現する。						
事業概要 (5行程度以内)	企業間の様々なデータ交換を実現する産業用データ連携基盤を実装する。具体的にはコネクタ、認証、カタログなどのデータ交換に必要なコンポーネント類を調達あるいは開発し、システムとして構築する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
執行額(G)	-	-	-	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
				-			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)	企業間の様々なデータ交換を実現する産業用データ連携基盤を実装する。具体的にはコネクタ、認証、カタログなどのデータ交換に必要なコンポーネント類を調達あるいは開発し、システムとして構築する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	企業間の横断的なデータ連携の構築	産業用データ連携基盤の構築に取り組んだ分野数	活動実績	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	-	-	-	-	3	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
			成果実績							
			目標値							
			達成度	%	-	-	-		-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績										
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
			成果実績							
			目標値							
			達成度	%	-	-	-		-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績										
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	<p>業界をまたがるデータ交換を容易に行える標準的な認証の仕組みを通じて相互運用性を実現することが求められているところ、相互運用性を確保したデータ交換を実現し産業のデジタル化を加速することを目的として産業用データ連携基盤を構築を図っていく。 なお、実証に当たっては緊急性及び必要性を鑑み注力すべき分野を定め、必要な分野から始めることとして、現場での実証を踏まえてその基盤技術を確立する。</p>								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	産業用データ連携基盤を活用している事業者数	産業用データ連携基盤を活用している事業者数	成果実績	事業者数	-	-	-		-	
			目標値	事業者数	-	-	-		100	
			達成度	%	-	-	-		-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績	民間における産業用データ連携基盤の浸透度合いを定量的に把握するにあたり、業界内における事業者数を目標値として設定。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
取組期間が令和5年度から令和7年度までと、期間が限定されているため。										

事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称	デジタル社会の実現に向けた重点計画												
	URL	https://www.digital.go.jp/policies/priority-policy-program/												
	該当箇所	p.70												
事業所管部局による点検・改善														
点検結果	<p>今年度から産業用データ連携基盤の構築に向けた調達に取り組んでいる。プロポーザル型企画競争を採用し、調達の透明性・公平性を確保しつつ、本業務の背景や趣旨、要件を正しく理解し、有益な企画内容が提案されるように、適正・効率的な予算執行に努める。</p>											目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)		
	-													
改善の方向性	適正・効率的な調達業務を実施する。													
外部有識者の所見														
点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見														
現状通り	事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。なお、アウトカムが複数設定できない理由については、本事業は実施年度が短期間で段階的なアウトカムの設定が難しい事業であることから、理由は妥当であるとする。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
現状通り	引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努める。													
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ													
	-													
	上記への対応状況													
	-													
	その他の指摘事項													
	-													
上記への対応状況														
-														
備考														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
平成23年度														
平成24年度														
平成25年度														
平成26年度														
平成27年度														
平成28年度														
平成29年度														
平成30年度														
令和元年度														
令和2年度														
令和3年度														
令和4年度	2022	デジ	21	0001	30									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック